



平成 27 年 10 月

提案箱のご意見に対する病院からのご連絡

数多くのご意見、ご感想をお寄せいただきありがとうございました。ここに、ご意見についての実施状況または回答をご報告申し上げます。

皆さまからのご意見

中央検査室の前を通りかかり中を見ました。当病院では、患者から採血したものを投げるようなことをされ驚くとともに粗暴な扱いに憤りを感じました。患者が痛い思いをして採血したものを職員の方は、どのように考えて投げる行為をされているのか医療に対する意識を疑う。

当院の対応

貴重なご意見をありがとうございました。

当院の検査室では検査させていただく検体を乱雑に取り扱うことは決してないよう十分注意しています。検査データに直接影響がでてしまい誤った検査結果を報告することにつながりますので、常日頃、検体そのものの取り扱いには大変、神経を使っております。

ご指摘の状況をいろいろな場面で想定してみました。採血現場のご指摘なのか、検査現場のご指摘なのか遭遇された場面がはっきりとはいたしません。検査室であれば、多くの検体が常に搬送されてくる場所であり非常に慌しい場面で、検体を仕分けしている様子が乱雑に取り扱っていると映ったのかもしれない。また、採血室であれば採血担当者が採血後に急ぎ対応を余儀なくされ慌しい動作が検体を乱雑に取り扱っていると受け取られてしまった、などが想定されますが、何れにせよ、職員の対応がご不快な思いを抱かせてしまいご指摘に至ったことで、自身の行動を振り返る良い機会となりました。患者さんからお預かりした検体をいつも大切に思う気持ちに変わりはありませんが、今一度、職員一同自らの行動に気を引き締め日々の業務に当たらせていただきます。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院

